

第 15 回
「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」
調査

2023 年 1 月

あなたの会社の **e-審査部**
リスクモンスター株式会社

<https://www.riskmonster.co.jp>

■ 調査の概要

1. 調査名称

第 15 回「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」調査

2. 調査方法

RM格付の遷移状況調査

3. 遷移調査時点

2022 年 12 月 18 日(日)

4. 調査対象企業

2022 年 12 月 18 日時点でRM格付がA～F格である 1,308,923 社

1. 調査結果

[1] 「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」／格付の分布

2022年12月18日に実施された「格付ロジック改定」により、RM格付の分布は、A～C格220,940件(構成比16.9%)、D格193,510件(同14.8%)、E～F格894,473件(同68.3%)となっております。(図表A)

新型コロナウイルスの流行から約3年が経過し、経済活動の制約も緩和されつつあるものの、ウクライナ危機の長期化や世界的なインフレ及び金融引き締めを背景に、資源高や為替相場の不安定化が生じており、日本経済を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。「格付ロジック改定」においては、倒産の傾向を左右する経済の環境や動向に合わせ、格付と倒産確率の乖離が生じないように調整を行っております。

[2] 「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」調査／全体遷移状況

格付遷移状況について、2022年11月と12月の格付を比較したところ、格付変動が生じた企業は349,451件(構成比26.7%)となりました。変動幅としては1ランクの変動が281,726件、2ランク以上の変動が67,725件、格付変動無しが959,472件(同73.3%)となっております。

格付変動企業のうち、格上げは90,616件、格下げは258,835件となっております。「格付ロジック改定」により格付評価の適正化を図ったほか、2022年12月18日メンテナンスにて決算情報を更新した結果、格下げ企業数が格上げ企業数を上回る内容となりました。

格付別の格下げ割合としては、「B格からC～F格への格下げ」(格付別格下げ割合43.9%)が最も多く、次いで「C格からD～F格への格下げ」(同41.3%)、「A格からB～F格への格下げ」(同37.3%)の順となっております。(図表B)

また、RM格付の精度を表す格付判別力(全倒産に占めるE・F格倒産の割合)は、1.6ポイント(90.0%→91.6%)の上昇を見込んでおります。(図表C)

「格付ロジック改定」では、2022年度上期の全国倒産件数が2019年度上期ぶりに前年同期比を上回るなど、倒産発生が増加トレンドに転じている点を踏まえております。倒産リスクが高まることが想定される企業に対して新評価の適正化を実施し、格付精度の向上を図っております。

[3] 「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」調査／地域別及び業種別遷移状況

地域別の格付遷移状況を調査したところ、全地域において、高格付(A～C格)企業が減少し、低格付(E～F格)企業が増加する変動となっております。特に「関東」においては、同様の変動が顕著に表れており、ロジック改定前後において、A～C格企業数が20,573件(旧93,933件/新73,360件)減少し、E～F格企業数が20,265件(旧282,836件/新303,201件)増加しております。(図表D)

また、業種別の格付遷移状況においても、概ね全ての業種において、高格付企業が減少し、低格付企業が増加する変動となっております。但し、「医療、福祉業」においては、A～B格企業(9,855件減)の減少に対して、E～F格企業(1,636件増)よりもC～D格企業(8,093件増)の方が増加しており、他業種と異なる変動となっております。新型コロナウイルスの流行が長引く中、病床回転率悪化や人件費高騰など、医療福祉法人の経営環境は厳しい状況が続いております。一

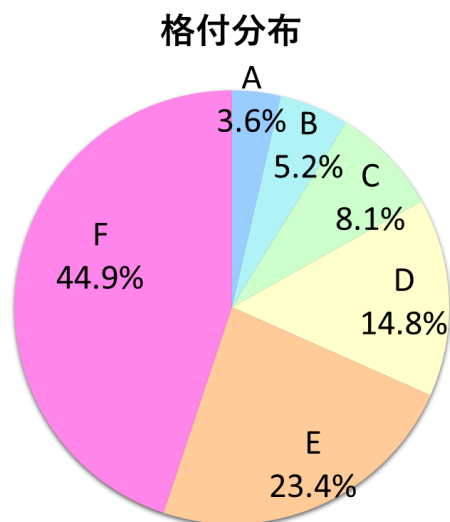
方で、コロナ関連補助金等の公的な資金支援により一定の収益性や資金力を有する医療福祉法人が多いことから、他業種ほど高格付から低格付への遷移は進まず、D格に留まる医療福祉法人が多い結果となりました。(図表E)

2. 総評

今回のロジック改定においては、日本経済を取り巻く環境の変化及び昨今の倒産企業数の増加を捉えつつ、定量・定性分析を強化しました。定量分析においては、AI技術を活用しており、特に売上高分析においては、多様な企業情報を掛け合わせ、多角的に企業の倒産傾向を分析しております。また、定性分析においては、業種と地域別の分析を強化し、格付評価ロジックへ反映しております。今回の調査結果により、格付ロジック改定の趣旨に沿った格付変動となっていることが確認されたといえます。

弊社としましては、今後も定期的な格付ロジック改定を実施し、時勢に合った分析手法を取り入れることで、より高い倒産判別精度を目指し、安全な取引の拡大による経済への貢献に努めていく所存です。

図表A 第15回「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」／格付分布

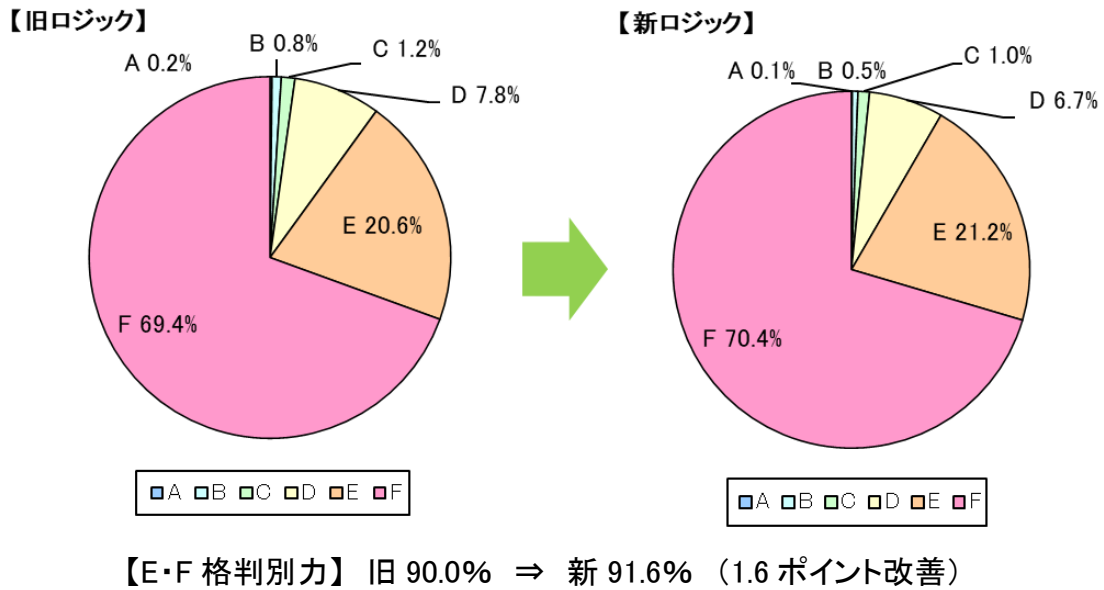


格付	想定倒産確率	定義	件数	
A	0.05%	支払い能力が非常に高い	47,227	3.6%
B	0.50%	支払い能力が高い	67,938	5.2%
C	1.00%	支払い能力は中程度	105,775	8.1%
D	2.00%	将来の支払い能力に懸念がある	193,510	14.8%
E	3.00%	支払い能力に懸念があり、注意すべき先	306,820	23.4%
F	6.00%	通常取引不適格先	587,653	44.9%
A～F格 合計			1,308,923	100%

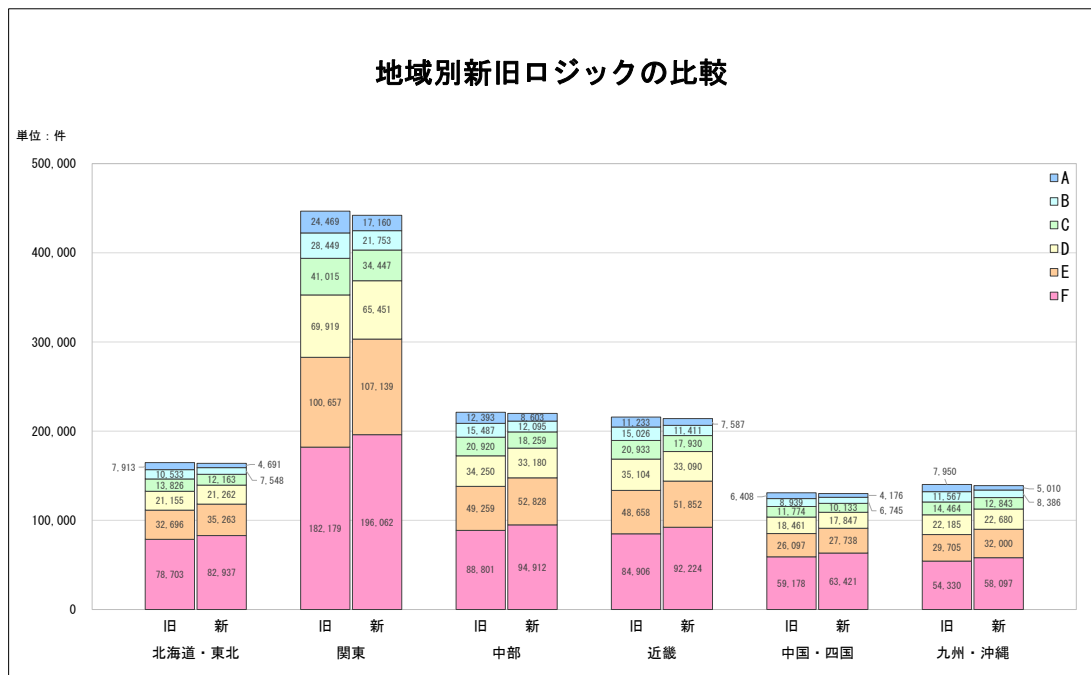
図表B 第15回「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」／全体遷移状況

		2022年12月						合計	前回比	
		A	B	C	D	E	F		格上げ	格下げ
2022年11月	A	44,068	10,854	12,321	2,969	66	1	70,279	—	37.3%
	B	3,156	47,168	18,012	19,669	1,712	31	89,748	3.5%	43.9%
	C	2	9,900	61,865	37,715	11,647	1,124	122,253	8.1%	41.3%
	D	0	14	13,515	112,926	55,346	17,816	199,617	6.8%	36.7%
	E	1	1	52	19,943	194,316	69,552	283,865	7.0%	24.5%
	F	0	1	10	288	43,733	499,129	543,161	8.1%	—
合計		47,227	67,938	105,775	193,510	306,820	587,653	1,308,923	6.9%	19.8%

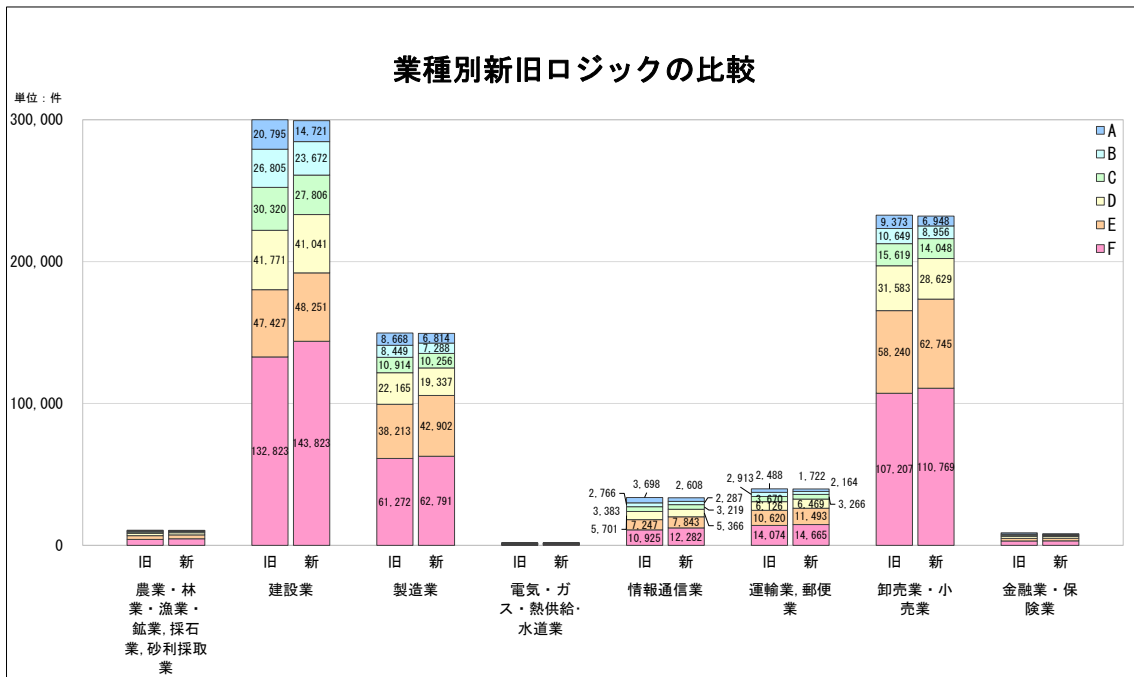
図表C 第15回「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」／新旧ロジックの比較



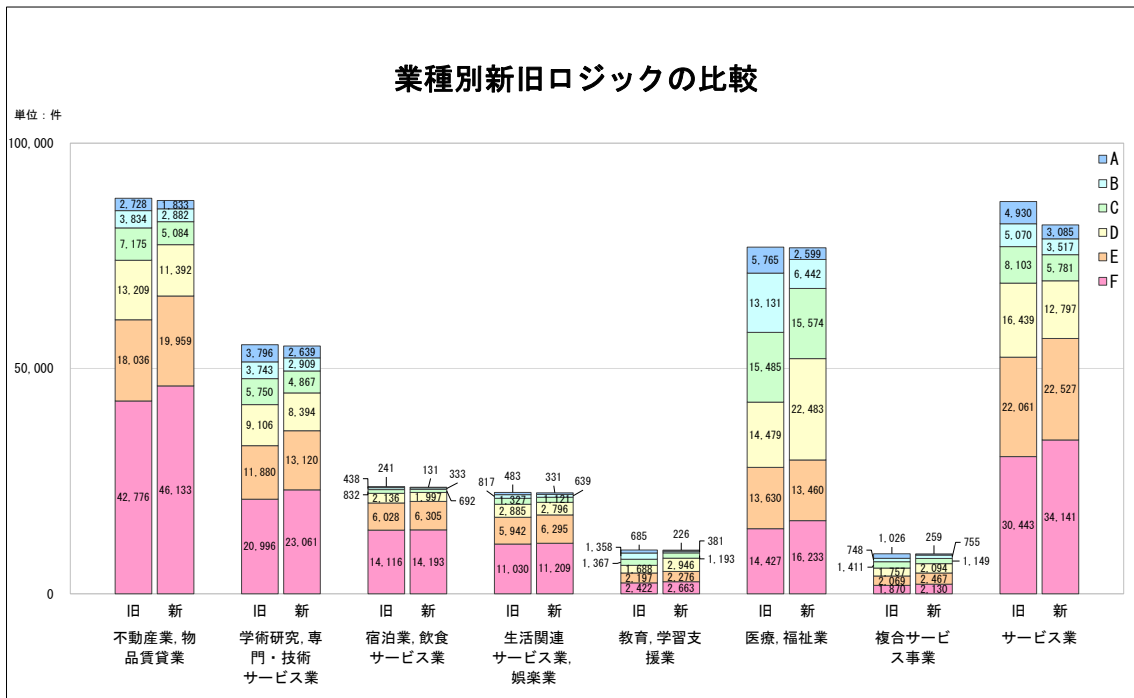
図表D 第15回「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」／都道府県別遷移状況



図表E 第15回「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」／業種別遷移状況



※件数詳細が非表示となっている業種については、図表F参考データを参照ください。



80	娯楽業	旧	233	3.0%	384	5.0%	571	7.5%	1,069	14.1%	2,120	28.0%	3,170	42.0%	7,547	100%
		新	158	2.1%	319	4.2%	499	6.6%	1,109	14.7%	2,228	29.6%	3,192	42.5%	7,505	100%
81	学校教育	旧	596	9.6%	1,194	19.2%	1,104	17.7%	1,144	18.4%	1,350	21.7%	818	13.1%	6,206	100%
		新	174	2.8%	290	4.6%	969	15.4%	2,448	39.5%	1,352	21.8%	963	15.5%	6,196	100%
82	その他の教育・学習支援業	旧	89	2.5%	164	4.6%	263	7.4%	544	15.4%	847	24.1%	1,604	45.8%	3,511	100%
		新	52	1.4%	91	2.6%	224	6.4%	498	14.2%	924	26.4%	1,700	48.2%	3,489	100%
83	医療業	旧	3,921	8.1%	7,145	14.8%	11,554	23.7%	8,939	18.5%	7,699	15.9%	8,949	18.5%	48,207	100%
		新	2,358	4.9%	5,759	11.9%	12,511	25.9%	9,723	20.2%	8,006	16.6%	9,773	20.3%	48,130	100%
84	保健衛生	旧	69	14.6%	58	12.3%	67	14.2%	103	21.8%	99	21.0%	75	15.9%	471	100%
		新	48	10.2%	27	5.7%	73	15.7%	133	28.3%	96	20.4%	92	19.6%	469	100%
85	社会保険・社会福祉・介護事業	旧	1,775	6.2%	5,928	20.9%	3,864	13.6%	5,437	19.2%	5,832	20.6%	5,403	19.1%	28,239	100%
		新	193	0.6%	656	2.3%	2,990	10.6%	12,627	44.7%	5,358	19.0%	6,368	22.5%	28,192	100%
87	協同組合	旧	1,026	11.5%	748	8.4%	1,410	15.8%	1,757	19.7%	2,068	23.2%	1,870	21.0%	8,879	100%
		新	259	2.9%	755	8.5%	1,149	12.9%	2,094	23.6%	2,467	27.8%	2,130	24.0%	8,854	100%
88	廃棄物処理業	旧	1,067	11.2%	922	9.7%	1,073	11.3%	1,530	16.1%	2,169	22.8%	2,721	28.7%	9,482	100%
		新	717	7.5%	774	8.1%	1,086	11.4%	1,626	17.1%	2,364	24.9%	2,891	30.7%	9,458	100%
89	自動車整備業	旧	219	1.4%	395	2.6%	820	5.8%	2,050	13.9%	4,410	30.0%	6,805	46.3%	14,699	100%
		新	145	0.9%	295	2.0%	685	4.8%	1,827	12.4%	4,964	33.8%	6,763	46.0%	14,679	100%
90	機械等修理業	旧	323	8.0%	279	6.9%	364	9.8%	604	15.0%	905	22.5%	1,534	38.2%	4,009	100%
		新	217	5.4%	259	6.4%	328	8.2%	557	13.9%	1,014	25.3%	1,624	40.6%	3,999	100%
91	職業紹介・労働者派遣業	旧	569	9.4%	489	8.1%	694	11.5%	1,078	17.9%	1,582	26.2%	1,607	26.7%	6,019	100%
		新	381	6.3%	407	6.8%	633	10.5%	1,174	19.8%	1,687	28.1%	1,707	28.5%	5,889	100%
92	その他の事業サービス業	旧	2,132	9.1%	1,834	7.8%	2,383	10.2%	3,764	16.1%	5,260	22.6%	7,896	33.9%	23,269	100%
		新	1,499	6.4%	1,392	6.0%	2,142	9.2%	3,812	16.4%	5,819	25.1%	8,516	36.7%	23,180	100%
93	政治・経済・文化団体	旧	593	2.0%	1,123	3.8%	2,726	9.3%	7,355	25.1%	7,655	26.1%	9,803	33.5%	29,255	100%
		新	105	0.4%	374	1.5%	875	3.6%	3,724	15.3%	6,601	27.2%	12,556	51.8%	24,235	100%
95	その他のサービス業	旧	27	8.7%	28	9.0%	43	13.8%	56	18.0%	80	25.8%	76	24.5%	310	100%
		新	21	6.8%	16	5.1%	32	10.3%	77	25.0%	78	25.3%	84	27.2%	308	100%
合計		旧	66,627	6.7%	82,451	7.1%	107,539	9.3%	172,783	16.0%	249,002	21.8%	473,175	41.0%	1,151,577	100%
		新	45,259	3.9%	63,668	5.5%	95,932	8.3%	169,198	14.8%	265,179	23.2%	503,813	44.0%	1,142,849	100%